

第5回斜面防災世界フォーラム(WLF5)参加ご案内(概要版)

((公社)日本地すべり学会)

地球規模の環境変化により、斜面の土砂災害は規模も大きく広範囲に及んでいる！

近年世界的に多発する自然災害は、気候変化と都市の人口集中に起因しているといわれます。2015年の国連会議では国家の持続的発展を重要視し、持続可能な発展目標(SDGs)として17の改善目標が設定されました。そして、同年の国連防災会議では仙台防災枠組みが制定され、世界的に防災の主流化が推進されました。

土砂災害は、地すべりや崩壊、土石流、落石など斜面で発生することが多く、日本だけでなく、発展途上国が点在するアジアや中南米で多く発生しています。国や地域そして共生社会の発展のためには、先進国・発展途上国双方から斜面災害軽減のための学術的知見や技術・経験などの情報交換と国際的な協力体制づくりを進めなければいけません。

日本は、土砂災害多発国であり、斜面防災の技術力は世界をリードするレベルと言えます。これら技術を斜面防災の国際会議で発表し、さまざまな国の研究者・技術者と意見を交わすことは、技術力向上のみならず技術を普及するためにも良い機会と言えます。



地震による大規模崩壊 日本



地震による崩壊 ネパール



都市部での地すべり ホンジュラス



降雨による地すべり ベトナム

斜面防災の国際会議で、日頃の活動を発表・聴講・議論し斜面对策に活かそう

WLF(World Landslide Forum: 斜面防災世界フォーラム)は、2008年東京を皮切りに、今まで、3年ごとにイタリア、中国、スロベニアで開催され50カ国ほどの国々の研究者・技術者が集い、斜面災害現象の事例や機構、対策について発表・議論する国際会議です。

2020年11月には、第5回目の会議京都WLF5が京都で開催されます。以下はそのテーマです。

- ・テーマ1: 仙台パートナーシップ 2015-2035 と京都コミットメント
- ・テーマ 2-1: ハザードおよび脆弱性マッピングとゾーネーション
- ・テーマ 2-2: 地すべりインベントリーマッピングと脆弱性評価
- ・テーマ3: 計測と早期警戒
- ・テーマ4: 試験、モデリングとリスク評価
- ・テーマ5: リスク管理のための教育と人材教育
- ・テーマ6: 大災害を引き起こす地すべり: その原因と結果

・テーマ7:最先端の地すべり科学と革新的な実践

・テーマ8:上記以外の個別研究課題

また、(公社)日本地すべり学会では、上記のテーマ8の中で、次の4つのセッションを設けております。

Session1 国際協力 斜面防災分野における国際協力

Session2 防災行政 日本政府の地すべりに対する対策と施策

Session3 地域防災 日本の防災技術者による地域防災力の向上支援

Session4 対策技術 日本の地すべり対策技術紹介

今、WLF5 で募集している発表の形式は3種類です

WLF5 の「参加のお誘い」パンフレットが地すべり学会 HP からリンクしています。

<https://japan.landslide-soc.org/wlf5.html>

発表の形式として、2020年1月時点で下記の3種類がエントリー可能です。

① 論文投稿しての口頭発表 (➤パンフレット p.2 の「準備日程と参加費」フルカラーの本) 論文(英語)を投稿し、査読後受理されたものを発表します。このタイプは研究業績として、広く多くの研究者・実務者に引用されやすい形式です。

② 要旨+スライド資料の投稿と口頭発表 (➤パンフレット p.2 の電子プロシーディングス) 要旨とスライド資料を投稿して口頭発表をします。前述の日本地すべり学会提案セッションでは、発表言語は日本語でも良く、議論が深まることが期待されます。ただし、アブストラクトとスライドは英語となります。

③ 電子ポスターでの投稿 (➤パンフレット p.2 の電子ポスター) 電子ポスターを投稿し、WLF5 の Web ページに掲載するものです。多忙な方にお勧めです。発表は希望により3分可能です。発表を希望しない方、予定が立たず学会開催中出席できない方も投稿できます。

上記②③も簡単な査読があります。③の発表は投稿数に制限はなく、2稿目から割安となります。①+③、②+③の発表も可能で、同様に③の投稿に掛かる費用は割安になります。

①②③の投稿・登録時期と金額については上記のHPをご参照ください。もちろん、発表せずに聴講のみでの参加もできます。

発展途上国参加支援などのため、スポンサーについても募集しています (➤パンフレット p.2 のスポンサーの募集)。

登録のしかた

参加希望者は、まず事前登録を行ってください。WLF5 事務局からの案内メールはここで登録されたアドレスに送られます。

さらに、本登録を行ってください。登録費は、2020年3月31日までの早期登録、2020年4月1日から7月31日までの通常登録、8月1日以降の遅延及び当日登録、によって価格が変わります (➤パンフレット p.2 の「準備日程と参加費」)。

2020.1.20